

屋根から落ちる雪や氷による危険防止などのお願

毎年、冬になりますと、屋根に積もった雪、氷、つららが落ちて歩行者がけがをしたり、死亡したりすることが、しばしば起こっています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くするため、特に、次のことに注意するようお願いいたします。

- ◆屋根の雪、氷、つららが道路に落ちる場所には、これに伴う事故を避けるため雪止めをつけるようにしてください。
- ◆雪止めがつけてあっても強さが足りなかったり、針金などがさびついたり古くなったりして切れて落ちることもあるので、必ず点検して、悪いところがあれば早めに修繕するようにしてください。
- ◆屋根の雪、氷、つらは、気温が上昇したとき、特にマイナス3度位からプラス3度位になったときに落ちやすい状況となるため、そのようなときは、早めに落とすようにし、落とすときは歩行者や遊んでいる子供などに十分注意するようにしてください。
- ◆屋根から大量の雪が落ちたときは、直ちに事故がないかどうか確かめるとともに、歩行者の通行への影響を避けるため、速やかに処理してください。
- ◆交通事故・交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。
- ◆軒下を通行するときは、屋根からの落氷雪に十分に注意するようにしてください。
- ◆軒下や道路では、子供を絶対に遊ばせないようにしてください。
- ◆ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落氷雪は少量でも危険であるため、付着した雪や氷の除去を行うようにしてください。

留萌開発建設部・天塩警察署・幌延町

あの頃の冬至のころの南瓜いろ

田中 徹男

列島の背骨を曲げて冬至なり

富樫とも子

字あまりの俳句生まれし冬至かな

熊谷千恵子

冬至過ぐ気持明るくなりけり

佐藤 光朗

八十路坂冬至南瓜の支えかな

横山 貞雄

人生の形いろいろ冬至粥

藤岡 芙美

十一月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

調理師の皆様へ!

飲食店や給食施設などで調理業務に従事している調理師は、「調理師業務従事者届」を提出することが、調理師法で義務づけられています。

平成24年12月31日現在の状況を書き込んで、平成25年1月15日(火)までに、社団法人北海道全調理師会稚内支部又は北海道宗谷総合振興局保健環境部(稚内保健所)に届け出てください。

お問い合わせ先

・社団法人北海道全調理師会
稚内支部事務局

稚内市中央2丁目5-10 香蘭ビル5階
電話 0162-23-2401

・宗谷総合振興局保健環境部
保健行政室(稚内保健所)

こども・健康推進課健康増進係
稚内市末広4丁目2-27
電話 0162-33-2990

保健センターから

ほろのべウオーキングラリー! は、11月30日をもって終了しました。72名の方が登録され、52名の方から100万歩達成の報告がありました。

来年度も、今年度の内容を更に改善して開催しますので、皆さんの健康づくりの1つの手段として、ぜひご参加ください。

11月号広報誌掲載以後に報告のあった方をご紹介します。

雨宮 浩樹さん(6月25日達成)

本村 伸彦さん(7月5日達成)

中司 昇さん(7月20日達成)

中安 昭夫さん(8月8日達成)

斉藤 直樹さん(8月17日達成)

池田 政敏さん(8月24日達成)

落合 彰二さん(8月27日達成)

中山 悟さん(11月13日達成)